

コベルコ建機

適用範囲		型 式	KR1100TR-2	KR1100TPR-2	KR1350TR-40	KR1350TPR-40
		質 量 kg	2,520	2,580	3,720	3,750
			当て回式	自動旋回式	当て回式	自動旋回式
		取付可能機体質量（単位 t）	20～	20～	35～	35～
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検 査 基 準 値		
旋回装置	旋回ベアリング	取付ボルトサイズ	mm	16	16	22
		締付トルク	N・m	270	270	700
			kg・m	28	28	71
		取付ボルトサイズ	mm	20	20	24
		締付トルク	N・m	530	530	850
			kg・m	54	54	87
油圧装置	シリンダー	開閉シリンダー （作動油温 50℃±5℃）				
		伸縮量	mm	0～50mm	0～50mm	0～50mm
		測定時間	分	5	5	5
圧砕・切断部	カッター	カッターの隙間				
		基準値	mm	0.5	0.5	0.5
		許容限度	mm	2	2	2
	圧砕ポイント	圧砕ポイント				
		基準値	mm	0	0	0
		許容限度	mm	50	50	50
		圧砕ポイント				
		基準寸法	mm			
		許容限度	mm			
	開口幅		mm	1,100	11,00	13,500

コンクリート大割圧砕具

KR1500TR-50	KR1500TPR-50	KR1500TPR	KR2150TR	KR2150TPR			
5,170	5,200	7,660	9,700	9,800			
当て回式	自動旋回式	自動旋回式	当て回式	自動旋回式			
48～	48～	95～	95～	95～			
検 査 基 準 値							
16	16	22	22	22			
270	270	700	700	700			
28	28	71	71	71			
20	20	24	24	24			
530	530	850	850	850			
54	54	87	87	87			
0～50mm	0～50mm	0～50mm	0～50mm	0～50mm			
5	5	5	5	5			
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
2	2	2	2	2			
0	0	0	0	0			
60	60	70	70	70			
1,500	1,500	1,500	2,150	2,150			

1. シリンダー伸縮量の測定

(1) 狙い

ブームの降下量（ブームシリンダーの伸び・縮み量）を測定することで『ブーム急降下防止弁』が確実に機能していることを確認する。

(2) 測定条件

- ①作動油の温度は 45℃～55℃で測定すること。
- ②水平堅固な平坦地であること。
- ③シリンダー交換直後は、シリンダー内のエア抜き後に実施すること。
- ④アームシリンダーは、ストロークエンドから 60mm 動かした状態（クッション範囲を外すこと）

(3) 測定姿勢

- ①アタッチメント装着無し
- ②バケットシリンダーは、固定する。
- ③アームシリンダー最縮から伸びた位置、バケットシリンダー最伸でブームフットピンとアームフットピンが一致する高さで保持させる。

(4) 測定

- ①エンジンキーOFF 後、5 分間経過時を測定すること。
- ②ブームシリンダーの測定位置Aを測定する。

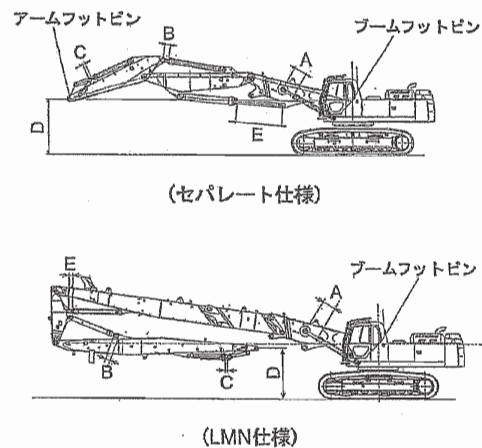


図 3-1 シリンダーの伸縮量測定

2. 作業範囲制限装置の確認

図に示す様にこの場合はブーム及びアーム角度に関わらず、解体具の先端がベースマシンの旋回中心から 7.5m の位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。

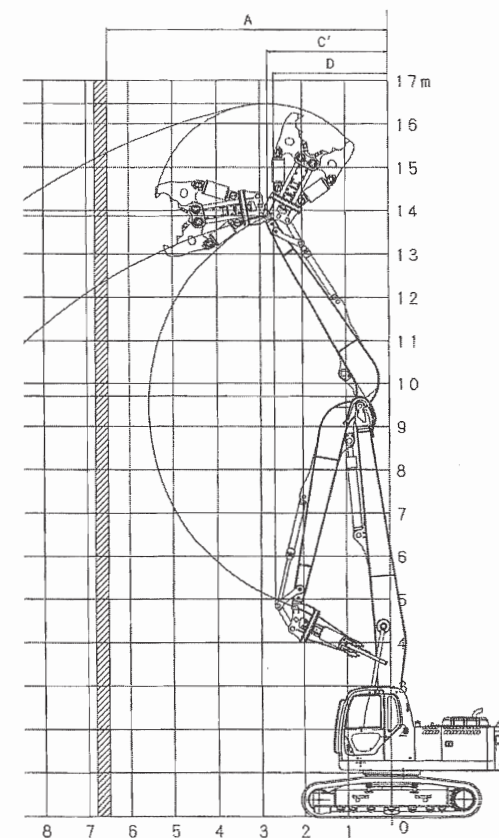


図 3-2 作業範囲制限装置の確認